

タイトル：カーネーション新品種候補「ベルベツトルージュ」

要約

カーネーション「ベルベツトルージュ」は「モナコ」と「あかね」を交雑し、得られた実生から選抜された品種である。花色は濃赤色の単色で、茎太で硬く、開花は晩生である。

キーワード：カーネーション、交雑育種、新品種、ベルベツトルージュ

担当機関：香川農試 花き担当

連絡先：087-889-1121

区分(部会名)：近畿中国四国農業

分類：技術、普及

背景・ねらい

カーネーションの生産に占める種苗費の割合は大きく、生産者の経営を著しく圧迫している。このため、現場からは安価でオリジナル性の高い品種の育成に対する要望が高い。そこで、優良な特性を備えたオリジナル性の高い新品種を育成する。

成果の内容・特徴

「ベルベツトルージュ」は香川県農業試験場において、1995年に子房親に「モナコ」、花粉親に香川県育成の「あかね」を交雑し、得られた実生の中から切り花品質や栽培特性に重点をおいて選抜した品種である。2000年に生育開花特性並びに生産力を検定した結果、実用性のあることを確認した。

「ベルベツトルージュ」の主な特性は「ノラ」と比較して次の通りである。

1. 花色は濃赤色（0409）の単色で、花の大きさは同程度であり、花弁数は少ない（図1、表1）。
2. 茎長（上位7節の長さ）は短く、茎は太くて硬い。茎葉のろう質は多く、葉は良く巻く（表2）。
3. 開花は晩生で1番花は12月～1月にかけて開花し、がく割れの発生は3.5%で少ない（表3）。

成果の活用面・留意点

1. 適応地域は瀬戸内の温暖な地域及びそれに準ずる地域とする。
2. 側枝の発生が少なく、省力的な栽培に適する。
3. 本品種は四季咲き品種であるが、開花は晩生であり、冬～春出荷作型では6月下旬までに定植することが望ましい。
4. 土壌伝染性の立ち枯れ病の発生を防ぐために、定植前には土壌消毒等の防除対策に留意する。

具体的データ



図1 「ベルベツトルージュ」(左)と「ノラ」(右)

表1 「ベルベットルージュ」の花部の特性

品種名	つぼみの大きさ (cm ²)	花径 (cm)	花卉					
			色 表面	長さ (mm)	幅 (mm)	枚数	鋸 歯 深さ 数	
ベルベット ルージュ	5.5	8.6	濃赤	63.0	39.0	32.8	浅い	少
ノラ	4.9	8.4	ピンク	50.5	32.5	78.5	浅い	少

1) つぼみの大きさ：破蕾直前の蕾長と直径の積

表2 「ベルベットルージュ」の茎葉部の特性

品種名	植物体		茎部				葉部	
	草丈 (cm)	節数	茎長 (cm)	長径 (mm)	茎硬 ろう質	節間長 (cm)	葉形	葉巻
ベルベット ルージュ	108	21.7	38.3	6.4	剛 多	7.6	線形	よく巻く
ノラ	113	18.9	50.1	5.2	剛 多	10.8	線形	よく巻く

表3 「ベルベットルージュ」の開花特性

品種名	1株あたりの切り花本数					がく割れ率 (%)
	10~11月	12~1月	2~3月	4~5月	計	
ベルベット ルージュ	0.1	2.3	1.4	0.5	4.3	3.5
ノラ	3.2	0.6	1.4	1.5	6.7	15.9

研究課題名

カーネーションの優良品種の育成

予算区分

県単

研究期間

1996~2000

研究担当者

瀬尾龍右、濱口政也

品種出願（登録）

品種登録出願中

発行年度

2002

収録データベース

[研究成果情報](#)